

廣澤 恵美（ひろさわめぐみ）氏

卒業年：平成 17 年 3 月 専攻：花き 住所：大船渡市



1 現在の経営概要

花壇苗 26a（ハウス 10 棟）、年間 15 万鉢出荷

2 経営での担当部門、取組状況、経営の特徴など

我が家の経営は、ビニールハウスで多種（約 80 種類）の花壇苗を生産しています。生産鉢数のうち、農協を通して関東・東北の市場への出荷が 7 割、地元の産直などでの販売が 3 割です。父、母、私のほかに、4 人くらいのパートさんにも手伝ってもらって作業をしています。

特に出荷が多い時期は春と秋です。秋は、大船渡市の夏の涼しさを生かして生産したガーデンシクラメンなどを 9 月頃から主に関東の市場へ出荷します。春は多品目を生産し、地元での販売に力を入れています。

このほか気仙地方農村青年クラブ連絡協議会では副会長として、仲間づくりや、情報交換などにも積極的に参加しています。同世代の農業者との交流はとても楽しく、励みになります。

3 就農しているなかでの苦勞、良かったこと

○ 花は野菜と異なり、一品目で長期出荷が難しく、年間を通してバランスよく組み合わせていくことがポイントです。また、花には出荷適期がありそれを逃すと安くなったり、きれいに咲いてくれないなど難しいところがあります。

○ 就農して良かったことは、花を管理することができて毎日が楽しいです。農業は自分のペースでできることもいいところです。また、花苗を買った消費者からの「きれいに咲いた」というような声を聞くと、うれしくなります。

4 農大での学生生活（役に立っていること、もっと勉強しておけばよかったこと、思い出など）

○ 寮生活がとても楽しかったことが思い出として残っています。良かったことは、いろいろありますがネットワーク、人とのつながりができたことです。

○ 農大時代は、実習などで疲れて座学はなかなか身に入りませんでした。実際に農業をしていると、もう少し栽培の裏付けとなる理論的なことをしっかり勉強しておけばよかったなと思います。

5 将来の夢、目標

市場出荷と地元での販売を両立させることにより、経営の安定化を図ります。また、地元の消費者に品質の良い花苗の提供やガーデニングの楽しみ方を提案することにより、花の魅力を知ってもらい、地元で販売拡大をしたい。

6 在校生への激励メッセージ

私にとって、農大で経験した様々なことは、今でも大切な思い出になっています。皆さんも学生生活を楽しんでください。

7 HP、ブログ、Facebook の有無

なし

8 取材後記（取材職員記入）

廣澤園芸は、恵美さんのお父さんが約 20 年前に花壇苗を中心に新規に立ち上げましたが、現在は御両親とともにさらに経営を発展させるべく頑張っています。ハウスは自宅からは約 10km 離れたところにありますが、1 年を通してほとんどが花のハウスにいるそうです。取材している時も花について触れるときは生き生きと話してくれ、本当に花が好きなんだと感じました。また、農業者としての実績を確実に積み上げ、平成 23 年 11 月に大船渡市の女性農業委員に就任されたほか大船渡市復興推進委員会の委員にも就任され、女性の視点で復興や地域農業の発展に向けて活動されています。

